土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　一級河川江の川水系 神宮寺川 測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	R2-Bor.No.4	調査位置	広島県庄原市口和町（本堤右岸袖折れ点部）	北緯	34° 55' 10.9120"
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所	調査期間	令和3年 2月 8日～ 令和3年 2月10日	東経	132° 53' 45.1850"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 360.24m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	5.00m	地盤勾配	44° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D型 / エンジン：ヤンマー TF-90M / ポンプ：東邦BG-3C型

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1				粘土質砂		暗褐灰	rd1		細～中砂主体。 10～20%程度細粒分を含む。 一部，φ20mm程度の亜角礫含む。 全体に，植物片を混入する。	2/8 無し
	358.54	1.70								
2	358.19	2.05		粘土混じり砂		褐灰 (灰茶褐			細～粗砂主体。 若干細粒分含む。 GL-1.90m付近に強風化した花崗閃緑岩質玉石を含む。	2/9 3.00
3				流紋岩		暗褐灰			岩片～短柱状を呈す。CL～CM級。 亀裂面は茶褐化して風化が見られる。 潜在亀裂は多いが，岩芯は硬質。 GL-2.50m付近から逸水。	
4										
5	355.24	5.00								
6										
7										
8										
9										
10										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15	1	2		3/300		
	1.45	200					
50以上	2.00	50			50	50	
	2.05	50			50		
50以上	3.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	4.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	5.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				2/8
				2/9